

今年の秋にアメリカから戻つて来る男と、婚約が成つてゐるのだと言ふ事は、女の口からも聞いた。

芝居を見に行つても頭が疼く。

クリスマス晩も、メソヂスト教會へ行つて十分と居れなかつた。

オラブ爲には外へ出なければならぬ。

所が女の家へ行つて僕は、毎日観音經をやつたのだ。

四角い火鉢の一角をまたぐらに挟んで、女と指角力をしたり、接吻もたまにはしたけれど、僕の情熱は或紫がよつた長い布が、天から垂れてる様に、日當りの好い障子に、影となつてたゞよふても居た。

おぢいちゃんは大抵畑か木樵りかで、白黒の猫が居る。

僕は一、二年は養生しなければならぬ身の上だ。

M太郎と云ふ十六の藝妓の肉は、ぼつてりしてゐても美しい。

雪が降り出した。